

2023 年度 韓国研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 3 回生 平尾希空

2024 年 3 月 14-17 日に参加した韓国研修について報告する。

〈サムソン病院見学で学んだこと〉

サムソン病院では最新の検査装置や病院の設備を拝見させて頂いた。

そこでは韓国の医療の発展を感じた。例えば、サムソン病院では採血した後、採血管は壁の中にあるパイプを通して自動で保存室に送られる。また、薬も床に引かれたレールを通り病室の患者の元まで届ける機械や、医者と患者が非接触で対話できる機械が導入されていた。他にもサムソン病院は広く複雑であり、海外からの来院も多い。その為、外国語に対応した案内ロボットを使用していた。またそれらの機械は大きいモニターで管理され一目で現在地がわかるようになっていた。

サムソン病院の設備の素晴らしさに感動したと共に、効率的に安全に、より良い医療を提供したいという努力が感じられた。

またサムソン病院では SHIMADZU の透視装置、ポータブルが使用されていた。実際に日本の装置が使用されており、嬉しく思った。

〈癌患者への取り組み〉

サムソン病院で 1 番印象に残ったのががん教育センター(CEC)だ。

CEC の部屋に入るとがんに関する資料だけでなくがん患者が利用できるカツラがあった。さらに、専門家との相談や教育を受けられるプログラムがあり、患者やその家族の心のケアもしている。

体の治療だけでなく健康な生活を維持できるように正しい情報の提供や精神的なケアにも力を入れて取り組んでいるのが印象的であった。

〈KIMES について〉

3 月 16 日に KIMES に参加させて頂いた。

そこでは、日本で診療放射線技師として働かれている人や、韓国、台湾の異なる職業に就かれている多くの方の研究発表を聴講できた。

その方々は発表はもちろん、質疑応答も英語でされており英語力の必要性をととても感じた。また医療の発展の為に尽力されている皆様の研究を知ることができて貴重な体験となった。

〈発言することの大切さ〉

日本とは違う景色、人、日本語が通じない環境で当初は不安であった。

初めは周りの様子を見ているだけであったが、韓国の方々がたくさん質問をしてコミュニケーションを取ろうとして下さり、ジェスチャーを交えながらの拙い英語でも笑顔で聞いてくださったおかげで、自分から進んで話しかけることができた。

今回の研修で失敗を恐れずに自分から発言することの大切さ、楽しさを学ぶことができた。

〈謝辞〉

今回の韓国研修は多くの方のサポートによりトラブルに巻き込まれることなく、研修を共にした仲間と貴重な時間を過ごすことができました。引率して頂いた、松尾先生、水田先生に感謝申し上げると共に、忙しい中快く迎えてくださった KIMES、サムソン病院関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

最後に今回の韓国研修に関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。

